

第 11 期科学技術・学術審議会学術分科会の各部会等における審議状況

1. 学術分科会

（1）第 11 期における主な審議内容

- 「総合知」の創出・活用及びポストコロナ下における科学技術・イノベーション政策の在り方等を念頭に、学術の振興方策について審議を行った。

（2）第 12 期に向けて引き続き検討すべき論点又は今後の方向性等

- 「総合知」の創出・活用及びポストコロナ下における科学技術・イノベーション政策の在り方等を念頭に、各部会及び関係審議会等と必要な連携を図りながら、学術の振興方策について、引き続き審議を行う。

2. 研究環境基盤部会

（1）第 11 期における主な審議内容

- 大学共同利用機関法人及び総合研究大学院大学による「連合体」（大学共同利用研究教育アライアンス）の発足に向けた取組や、発足後の活動状況について聴取した。
- 国立大学の共同利用・共同研究拠点について、第 3 期中期目標期間における期末評価及び第 4 期中期目標期間における認定に係る審議を行い、結果を公表した。
- 公私立大学の共同利用・共同研究拠点について、拠点の中間評価及び期末評価を行うとともに、令和 4 年度からの認定に係る審議を行い、結果を公表した。また、令和 5 年度からの認定について審議を行った。
- 学術研究の大型プロジェクトについて、各プロジェクトの適切な進捗管理を行うとともに、所要の評価に係る審議を行った。また、次期ロードマップの策定について議論を開始し、策定方針を取りまとめた。
- 国立大学法人運営費交付金（学術研究関係）について、配分等に係る審議を行った。

（2）第 12 期に向けて引き続き検討すべき論点又は今後の方向性等

- 「大学共同利用機関検証ガイドライン」（令和 2 年 3 月）や「大学共同利用機関外部検証実施要領」（令和 2 年 8 月）の見直し等、次期検証の在り方について審議予定。
- 国立大学の共同利用・共同研究拠点について、第 4 期中期目標期間における中間評価を実施するとともに、第 4 期の中間年度（令和 5～6 年度（第 4 期 2～3 年度目））において、拠点の公募を実施する予定。

- 次期ロードマップについて、策定方針に基づき公募に向けた審議を行い、公募・審査を経て令和5年度中に新たなロードマップを策定予定。

3. 研究費部会

(1) 第11期における主な審議内容

- 第10期研究費部会において取りまとめた「第6期科学技術・イノベーション基本計画に向けた科研費の改善・充実について」（令和3年1月）を踏まえ、科研費の更なる制度改善に向けて審議を行った。
- 具体的には、「国際先導研究」の新設による国際共同研究の強化や「特別研究員奨励費」の抜本的改善による若手研究者支援の充実等を推進するとともに、基盤研究の助成の在り方等に係る審議を行った。
- 第11期に推進した科研費の改善とともに、今後検討の必要がある課題等を整理し、審議のまとめを取りまとめた。

(2) 第12期に向けて引き続き検討すべき論点又は今後の方向性等

- 第11期に推進した科研費の国際化や若手研究者支援等について、引き続き改善・充実に取り組むとともに、基盤研究の助成の在り方や審査システムの改善に向けた検討を行い、制度の不断の改善を図る。

4. 人文学・社会科学特別委員会

(1) 第11期における主な審議内容

- 「総合知」の創出・活用について、「総合知」の創出・活用に向けた人文学・社会科学振興の取組方針」を取りまとめた。
- 人文学・社会科学分野における研究データ共同利用のための基盤整備及びデータサイエンスの応用促進の今後の方向性について、審議を行った。
- 人文学・社会科学分野における研究成果に係るモニタリング指標について、「人文学・社会科学の研究成果のモニタリング指標について」を取りまとめた。

(2) 引き続き検討すべき論点又は今後の方向性等

- 「総合知」の創出・活用の観点も踏まえ、研究データの共同利用のための基盤整備及びデータサイエンスの応用促進等について、引き続き審議を行う。
- 第11期の審議を踏まえ、人文学・社会科学分野における研究成果に係る指標のモニタリングを実施するとともに、モニタリングの手法及び指標の扱いについて、引き続き改善・充実を図る。